

I 総 括 的 概 要

わが国経済は、昨年12月に発足した新政権の下、閉塞感を打ち破る期待感が寄せられたものの、金融円滑化法の期限終了や消費税増税を控えるなど地域中小企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況であった。

こうしたなか、本商工会議所は、持続・自立する地域経済を確立するために新産業の創出、新分野に挑戦する企業の取組みを全力でサポートするとともに、創立120周年の節目の年に相応しい記念事業を実施した。

また、本所会館利用者の安全を図ることを目的に改修工事にも着手した。

以下、本年度に実施した主要事業の概要を報告する。



地域の多様な産業、特色ある企業の強みを最大化し、 明日に希望の持てる産業界を行政と連携しサポートします

○創立120周年記念事業の実施

本所は、明治25年11月15日に創立、120周年を迎えた平成24年を、これから見据えた「次世代につなぐ。」節目の年として、過去から未来へと時代を紡ぐ想いを会員事業所の方々と共有しながら、明日に希望を持つことができる産業界を目指した記念事業を実施した。



▲家康行列で家康公を演じる古澤会頭 於 乙川河川敷 (4/8)



▲岡崎観光夏まつり花火大会協賛 於 乙川河川敷 (8/4)



◀ 第3回特別講演会

「人口減少時代の
地域経済」
政策研究大学院大学
名誉教授 松谷明彦氏
於 本所 (9/11)



▲創立120周年記念誌
(12月発行)

▲盛大に開催された記念式典の様相 於 本所大ホール (11/15)

○中小企業で活躍する人材の確保・育成

本所就職情報室の活動を通し、新卒・既卒ならびに若年求職者とのマッチングを支援した。また、経済講演会・講習会、研究会活動を充実させ、企業力向上のための現場力養成とキャリア形成支援に努め、専門的知識の習得を目指した技能・技術講座による新技術開発、技能定着を支援した。新たに創立120周年を機に、先人たちの偉業・想いを若い世代の人たちに伝え、育てることを目的に「優良生徒表彰制度」を設け、本市商業の発展に寄与した岡崎商業高校と岡崎工業高校を対象に、優秀な成績を収めた生徒を表彰した。



▲「優良生徒表彰制度」表彰式の様相 (2/26)
両校合わせ20名の生徒を表彰 於 本所



▲「第7期ひとづくり塾」の様相
平成18年開講以来、140名が卒業



▲リニューアルした就活支援サイト
「OK Navi」

○域内受発注の機会づくりと海外展開支援



▲展示会の模様 於 岡崎市竜美丘会館

「第3回ものづくり岡崎フェア2012」の開催ならびに県内外で開催された商談会・展示会の情報提供・斡旋仲介を通し、既存顧客の確保と県内外市場の新規開拓、他業種・業界とのマッチングを企画・支援し、ビジネスチャンスの拡大に努めた。また、日本貿易振興機構（ジェトロ）と連携し、海外向け商品の開発など海外展開・進出を支援した。

「第3回ものづくり岡崎フェア2012」

岡崎の優れた製品や技術の紹介により販路を開拓し、“ものづくり岡崎”のイメージ向上を図り、地域活性化を目指して開催した。

＝日時＝ 7月10日・11日 午前10時～午後5時

＝内容＝ 展示会（70社・機関の出演）・講演会（6本）

＝実績＝ 来場者数 4,500名（1日目2,104名、2日目2,396名）

○ソーシャルビジネスの手法を活かしたコミュニティの再生

今や商店街再生の切り札として全国的にも注目を集める存在となったまちゼミ、平成14年度にこの事業は岡崎から生まれた。専門知識や技術を店主自らが伝授する。消費者のクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献することで、商店街の存在価値を改めて知っていただくもの。本町康生地区・岩津地区・JR岡崎駅周辺地区の意欲的な参加店の活動の場に成長したコミュニティビジネスを、おかざきファーマーズマーケットとともに支援した。



▲得する街のゼミナール ※左から本町康生地区、おかざき駅前地区、岩津地区

○岡崎の観光資源を活かした産業振興

地域の特徴を活かした観光資源の開発・活用に向け、地域資源の掘り起こし・観光の視点に立った地域の魅力の情報発信など、自立的・持続的な観光産業振興の推進に



▲大樹寺での岡崎部会発会式の模様 (11/26)

取り組んだ。また、平成27年に家康公薨去四百年を迎えるにあたり、家康公のご遺徳を全国・世界へ発信する「徳川家康公顕彰四百年記念事業」の実施を見据え、同記念事業推進委員会の岡崎部会を発会した。



「岡崎の
うまいもん祭り」
食産業の活性化を
目指して
(11/17、18)

○震災復興支援・中小企業の成長力強化に向けて

震災復興支援「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」への参画



▲贈呈式の模様 於 仙台商工会議所 (8/1) ※右から4人目 機械金属部会 杉木部会長

全国の商工会議所会員事業所から遊休機械を無償で提供いただき、被災事業者に送り届ける「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」として、刈谷商工会議所と共同で、東北六県商工会議所連合会に対しトラック3台分の遊休機械を贈呈。

2012年「岡崎ビジネス大賞」の実施

独自の技術や斬新的なアイデアをいかし、画期的なサービスを生み出している、または生み出そうとしている地域の中小企業を顕彰し、地域経済の発展に寄与することを目的に、今年度第5回目となる「岡崎ビジネス大賞」を実施した。大賞には、『「ジェントルライト」の製造販売』M&G株式会社。



▲屋内外問わず半永久的に使用できる
誘導標：ジェントルライト

中小企業への円滑な資金調達支援を要望



平成25年2月1日、日本政策金融公庫の細川興一副総裁が本所を訪れ、古澤会頭と懇談。細川副総裁は「中小企業が不透明な経済情勢下でも事業活動が行えるよう、我々が眼力を働かせて支援策を模索していくことが必要になる。」と、考えを示されたのに対し、古澤会頭は「中小企業は、金融機関のサポートなくして資金が回らない。企業努力は必要だが、国と金融機関が一体となって支援して欲しい。」と要望。

◀ 日本政策金融公庫 副総裁 細川興一氏 於 本所正副会頭室

平成 2 4 年度収支決算総括表

平成24年 4月 1日 ～ 平成25年 3月31日

岡崎商工会議所
(単位 円)

会 計	繰越金	収 入	収入合計	支 出	差引収支残高
一般会計	23,825,208	223,752,024	247,577,232	226,232,185	21,345,047
特別会計	62,533,368	312,491,037	375,024,405	311,639,892	63,384,513
中小企業相談所会計	0	127,732,490	127,732,490	123,894,911	3,837,579
法定台帳関係費会計	3,252,887	10,845,644	14,098,531	10,866,341	3,232,190
不動産貸付事業会計	12,718,851	66,606,515	79,325,366	65,487,830	13,837,536
請負事業会計	4,881,078	76,641,661	81,522,739	73,786,496	7,736,243
部会等運営費会計	21,609,422	20,431,537	42,040,959	18,659,071	23,381,888
産業文化振興基金会計	12,582,581	26,496	12,609,077	1,250,000	11,359,077
120周年記念事業会計	7,488,549	10,206,694	17,695,243	17,695,243	0
小 計	86,358,576	536,243,061	622,601,637	537,872,077	84,729,560
積立金・引当金	174,114,258	18,893,064	193,007,322	84,254,168	108,753,154
合 計	260,472,834	555,136,125	815,608,959	622,126,245	193,482,714